

主の奉献の律法

教義と聖約42：30, 38-39

教義と聖約78：3-7

教義と聖約105：1-5

十二使徒定員会のD・トッド・クリストファーソン長老は、次のように説明しています。



「主の奉献の律法（例として、教義と聖約42：32, 53参照）……は財政的な側面もありますが、それ以上に、この世の生涯で日の栄えの律法を適用することなのです（教義と聖約105：5参照）。奉献とは、聖なる目的にささげるために、何かを神聖なものとして聖別することです。この世の生涯における真の成功は、自分の生涯、つまり時間と選択を神の目的のために奉献することからもたらされます（ヨハネ17：1, 4；教義と聖約19：19参照）。そうするとき、神はわたしたちを最高の高みにまで上げることがおできになるのです。」（D・トッド・クリストファーソン「奉献された生活についての熟考」『リアホナ』2010年11月号, 16参照）

十二使徒定員会のディーター・F・ワークトドルフ長老は、次のように教えています。



「犠牲と奉献は、聖なる神殿で従うと聖約する二つの天の律法です。この二つの律法は似ていますが、同じではありません。……

奉献は、少なくとも一つの重要な点で犠牲とは異なります。わたしたちは何かを奉献するとき、祭壇で焼き尽くすことはしません。むしろ、主の奉仕のために使います。主と主の聖なる目的のためにささげるのです。主の王国を築くうえでさらに役に立てるように、主が与えてくださった才能を受けて、その才能を何倍にも伸ばすように努めます。

救い主のために命を犠牲にするように求められる人は、ほとんどいません。しかし、わたしたちは皆、自分の生活を主に奉献するように招かれています。」（ディーター・F・ワークトドルフ「心からのすべて」『リアホナ』2022年5月号, 124）

奉献の律法とは何か、わたしにどのような影響があるか

「今日、わたしたちはこれとは異なる方法でこの律法に従って生活しています。例えば、ほかの人々に奉仕し、教会で召しや割り当てを受け最善を尽くして果たし、完全な什分の一と惜しめない断食献金を納めます。神の王国を築き上げ、貧しい人々を助けるために、預言者と聖霊から教えられることを行うとき、わたしたちは奉献の律法に従って生活していることとなります。」（「奉献の律法とは何ですか？わたしにどのような影響がありますか？」『For the Strength of Youth—青少年の強さのために』2021年4月号, 31）